



国保保険料の県下統一 知事「強引に押し切らない」

国保料統一への方針 国費投入の削減のため

●10日、党を代表して岡田よしひで議員が質問に立ちました。

県は、国の方針に沿って、市町村が独自に決めている国保保険料を県下一律の保険料にする取組を進めており、この8月にも県下市町村の合意を取り付けようとしています。

全国知事会は国保の財政運責任が2018年度より都道府県になる際、持続的に国保を運営するには国費を更に一兆円投入する必要があると決議し求めたものの、国は3400億円の財政支援で済ませています。

●岡田議員は、この国の県下一律保険料への流れは、私たち国保加入者のためではなく、今で

さえ足りない保険制度維持のための国費支援をさらに削減するためであり「国保の安定化については、国の負担を削る方向を根本から見直し、思い切った国費の投入が重要だ」「市町村との合意形成ができるまで、期限を切らずにしっかり議論をすることが大切だ」と、知事の姿勢を正しました。

●浜田知事は、「全国知事会とも連携しながら必要となる国費の確保について意見を述べて行く」「期限ありきで強引に押し切るということではなく、よく話し合いをして理解を得ながら進め合意形成を図りたい」と答えました。

軍事費 GDP2%へ倍化は 社会保障・生活押しつぶす！

●日米首脳共同声明での軍事費2倍化への動きは、際限ない軍拡で暮らしと地域経済を破壊すると指摘。知事の「防衛力強化すべきは理解できる」との答弁に、岡田議員は「社会保障費など2倍化で削られるしわ寄せが起きて、暮らしだけでなく財政も痛む」と再質問し、政府の軍事費2倍化容認姿勢の知事を正しました。



キラリンにやんでも通信

※選挙中は本ニュースをお休みします。

いを確かめたいと思っています。

念館へ足を運び、戦争と平和への思

ですが、今年も高知市立自由民権記

すべきです。参議院議員選挙期間中

て、オブザーバーとして会議に参加

府は条約への参加はもちろん、せめ

界にむけて、唯一の被爆国の日本政

准国は61か国となりました。核兵器のない世

★ピースウェイブ in こうち

核兵器禁止条約の締約国会議が6月21日

く23日にかけてウイーンで開催されます。批

2022 ピースウェイブ in こうち 「第44回戦争と平和を考える資料展」

いま、戦争と平和を考える

—ウクライナ、沖縄、憲法—

キッズゲルニカはピカソの「ゲルニカ」と同じ大きさのキャンパス (3.5×7.8m) に子どもたちが平和を願って絵を描くという国際的なアート・プロジェクトです。この作品はポーランドの子どもたちが描いたものです。開催期間中、「平和資料館・草の家」壁面に展示します。(提供 キッズゲルニカ国際委員会)

2022.6.30(木)~7.7(木)※月曜定休
9:30~17:00(最終日15:00)

高知市立自由民権記念館
高知市棧橋通4丁目14-3

主催：平和資料館・草の家
〒780-0861 高知市升形9-11
Tel 088-875-1275 / Fax 088-821-0586
GRH@ma1.seikyoku.ne.jp

入場無料